

2019.8.17

今年も、小崎恭弘先生をお招きし オレンジリボン内部研修を実施しました。



写真：オレンジリボン内部研修風景

《2019年8月17日（土）15:00～ 城東ちどり保育園》

子どものこまった行動を考える ～かみつきはなぜ起きるのか？～

一昨年、昨年と、子育て講演やオレンジリボン内部研修で講演をして頂きました小崎恭弘先生（大阪教育大学准教授・ファザーリングジャパン関西顧問）を三度（みたび）お招きし、オレンジリボン内部研修を実施しました。

今回は、『子どもの困った行動を考える』と題し、子どもとは何か？子どもはなぜそんな行動をとってしまうのか、保育者は、それをどう受け止め、対応すべきか、という内容でお話し頂きました。

- 子どもは未熟で、依存的な存在だからこそ、保育という仕事が成立する。
- 問題行動は子どもたちの訴えであり、新人保育者にとって保育を練習するチャンスでもある。
- リフレーミング（新しい意味付け）により、否定的に捉えがちな行動を、肯定的に変化させよう。

など、鋭い視点からの提言に、「そうか！」と目からウロコが落ちる思いでした。

また、かみつきについては、3歳くらいまでの子どもにとって、相手に意思や欲求を伝える最も合理的な方法であり、“起こる”ことを前提に、保育の環境や方法を改善すべきとのアドバイスがありました。

一方、家庭では起こり得ない“かみつき”に対し、保育者と保護者の間で考え方にギャップがあることを認識し、連絡・報告を密にし（信頼を得て）、良い関係性を保つことが重要であるとの提言も戴きました。